

② 関数		1 3 変化の割合	月 日 ()
1	石川県立高校 (R 4年) ★	4	東京工大附属科技高校 (R 4年) ★
関数 $y = x^2$ について x の値が a から $a + 3$ まで増加するときの変化の割合が13である。このときの a の値を求めなさい。		関数 $y = \frac{3}{x}$ で, x の値が $\frac{1}{4}$ から $\frac{1}{2}$ まで増加するときの変化の割合を求めなさい。	
2	就実高校 (R 4年) ★★	5	桐光学園高校 (R 5年) ★★
x の値が $a - 2$ から $a + 4$ まで増加するとき,1次関数 $y = -x + 1$ と関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ の変化の割合が等しくなった。このとき, $a = [\quad]$ である。		1次関数 $y = -4x + 2$ と2次関数 $y = 2x^2$ において, x の値が a から $a + 3$ まで増加するときの変化の割合が等しいとき,定数 a の値を求めよ。	
3	中央大附属横浜高校 (R 5年) ★★	6	国立高専 (R 5年) ★
y が x に反比例していて, $x = 2$ のとき, $y = 3$ である。 x の値が -6 から -2 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。		2つの関数 $y = ax^2$ と $y = -\frac{3}{x}$ について, x の値が1から3まで増加するときの変化の割合が等しいとき, $a = (\quad)$ である。	